

埼玉県強度行動障害支援者養成研修実施要綱 新旧対照表

新				旧				
別紙1 強度行動障害支援者養成研修カリキュラム 強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(基礎研修)				別紙1 強度行動障害支援者養成研修カリキュラム 強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(基礎研修)				
科目名	時間	内容		科目名	時間	内容		
I 講義				I 講義				
1 強度行動障害がある者の基本的理解	1.5	①強度行動障害の理解	支援の基本的考え方 強度行動障害の状態 行動障害が起きる理由 障害特性の理解	1 強度行動障害がある者の基本的理解	2.5	①強度行動障害とは	本研修の対象となる行動障害 強度行動障害の定義 強度行動障害支援の歴史的な流れ 知的障害／自閉症／精神障害とは 行動障害と家族の生活の理解 危機管理・緊急時の対応	
		②研修の意義	行動障害と虐待防止 家族の気持ち／実践報告			②強度行動障害と医療	強度行動障害と精神科の診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携	
		③支援のアイデア	障害特性に基づいた支援			③強度行動障害と制度	自立支援給付と行動障害 他	
		④チームプレイの基本	チームプレイの必要性			④構造化	構造化の考え方 構造化の基本と手法 構造化に基づく支援のアイデア	
		⑤実践報告	児童期及び成人期における支援の実際			⑤支援の基本的な枠組みと記録	支援の基本的な枠組み 支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ	
2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	5			2 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	3.5	⑥虐待防止と身体拘束	虐待防止法と身体拘束について 強度行動障害と虐待	
II 演習				II 演習				
1 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①基本的な情報収集	行動を見る視点	1 基本的な情報収集と記録等の共有	1	①情報収集とチームプレイの基本	情報の入手とその方法 記録とそのまとめ方と情報共有 アセスメントとは	
2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	3	②チームプレイの基本 ③強度行動障害の理解	支援手順書に基づく支援の体験 困っていることの体験	2 行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解	2.5	②固有のコミュニケーション	様々なコミュニケーション方法 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議／まとめ	
3 行動障害の背景にある特性の理解	1.5	④特性の分析	特性の把握と適切な対応	3 行動障害の背景にある特性の理解	2.5	③行動障害の背景にあるもの	感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する氷山モデル グループ討議／まとめ	
合計	12			合計	12			
強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(実践研修)				強度行動障害支援者養成研修カリキュラム(実践研修)				
科目名	時間	内容		科目名	時間	内容		
I 講義				I 講義				
1 強度行動障害のある者へのチーム支援	3	①支援を組み立てるための基本	強度行動障害の支援に必要な知識	1 強度行動障害のある者へのチーム支援	2	①強度行動障害支援の原則	チームによる支援の重要性 支援の6つの原則 地域で強度行動障害の人を支える	
		②組織的なアプローチ	組織的なアプローチの重要性			②強度行動障害と生活の組み立て	①行動障害のある人の生活と支援の実際	行動障害のある人の家族の思い 日中活動場面における支援 夕方から朝にかけての支援 外出場面における支援
		③実践報告	チームによる支援の実際					
2 強度行動障害と生活の組み立て	0.5							
II 演習				II 演習				
1 障害特性の理解とアセスメント	3	①アセスメントの方法	具体的なアセスメントの方法 障害特性に基づくアセスメント	1 障害特性の理解とアセスメント	2.5	①障害特性とアセスメント	障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する	
2 環境調整による強度行動障害の支援	3	②手順書の作成	アセスメントに基づく支援手順書の作成	2 環境調整による強度行動障害の支援	3.5	①構造化の考え方と方法	強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法	
3 記録に基づく支援の評価	1.5	③記録の分析と支援手順書の修正	記録の方法 記録の分析と支援手順書の修正	3 記録に基づく支援の評価	1	①記録の収集と分析	行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	
4 危機対応と虐待防止	1	④関係機関との連携	関係機関(医療機関等)との連携の方法	4 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	
合計	12			合計	12			